

Q. 海洋高校に入ろうと思ったきっかけを教えてください。

A. 私はもともと自然が大好きで、小さいころには家族で大島旅行に来たりしていて、大島のことは知っていました。三原山にも登ったことがあり、そこから見えた海原がすごくきれいで感動したことを覚えています。

高校受験の際には、なんとなくですが、人と違うことがしたいとか、面白いことがしたいなど思っていたところに、塾の先生に大島海洋国際高校のことを教えてもらいました。海に関する学習が多くて学習内容に興味があったことはもちろんですが、高校生の時から親元を離れて暮らすことで自身の自立につながると思い、志望しました。

Q. 寮生活の感想を教えてください。

A. 入学前は、寮生活は友達に囲まれて修学旅行みたいなもの、と楽しいことばかり想像していました。

実際に寮で集団で生活していく中では当然ですが、細かい規則やルールもあります。個人に割り当てられた清掃や作業の分担もあるなど、慣れるまでは大変でした。規則などを守ることは数百人との共同生活をする上で非常に大切なことですし、将来海の上で活躍しようと思ったら、狭い空間での長期間の共同生活もあるので、その練習と思うと、将来の勉強にもなっていると思います。

何より、他の高校生と比べて、ずっとたくましくなれたという自信があります(笑)

Q. 将来に向けて今頑張っている事はありますか？

A. 学校の実習で乗船した「大島丸」で活躍している女性の航海士に憧れ、航海士になりたいと思っています。航海士の仕事は色々ありますが、天候や潮流などを考慮しながら安全な航海を行うことが一番大切です。

二年生の乗船実習では、船に関する法律や船上での船員同士のコミュニケーションなどについて学習しました。また、小型船舶操縦の筆記試験にも合格しました。三年生になってからは、実際に船に乗り、航海計器を使ったり筆記試験で学んだことを実際にやってみて、知識だけではなく、実際に操作して技術を身につけています。

大型船舶の操船できる「航海士」の試験を受けられるのはまだ先ですが、過去問などで勉強を進めています。

中学生へメッセージをお願いします！

大島海洋国際高校は、都立高校では唯一大きな学生寮があり、自立した高校生活を送ることができます。魚が恋人！と豪語するような変わった同級生も多く、まだ進路が決まっていない人でも、海のことに興味があれば充実した高校生活を送りつつ、自分のやりたいことも見つけられると思います。



インタビューに応じてくれた  
大島海洋国際高校3年  
海洋国際科の川上彩那さん



底釣り実習の様子



操船実習の様子



英語教育にも力を入れている



寄宿舎での学習（宅習）の様子



海洋スポーツ実習の様子



スクーバダイビング実習の様子